

玉川上水と「はむら人気質」

世界有数の大都市・江戸を支えた玉川上水

1600年天下分け目の関ヶ原の戦いで豊臣勢を制した徳川家康は1603年江戸幕府を開きました。江戸は日本の政治の中心地として、大都会へと発展していきます。1629年人口の増加に伴い不足する飲料水を補うために、井の頭池から水道を引きました。神田上水です。

江戸は人口増が続き、新しい水道が必要となり、多摩川の水を羽村でせき止めて水を引き入れ、四谷大木戸まで堀を掘って水を流すことになり、庄右衛門、清右衛門兄弟(いわゆる玉川兄弟)が請け負い1653年完成しました。

玉川上水は江戸の飲料水としてだけでなく、多くの分水がつけられ、水が乏しく原野として放置されていた武蔵野台地に新田開発がすすみ、急成長する江戸に食料や糸などを供給することになります。

1721年に人口100万人という当時の世界でも有数の大都市に発展した江戸は玉川上水によって支えられていたといえます。

玉川上水によってはぐくまれた「はむら人気質」

江戸幕府にとっても町民にとっても上水は「命綱」なので、幕府直轄管理で上水奉行あるいは町奉行(時代によって変遷)が管理し、羽村には陣屋が置かれ、役人が常駐していました。また、羽村近隣の村々には上水や取水堰を守ることを義務づけられていました。

幕府から派遣された役人との交流を通じて、最新の文化や政治の息吹がもたらされました。川の増水で堰がこわれたら、羽村や周辺の村から人々を動員して応急処置をする水番人や改修工事を行う請負人は羽村の人が中心でした。こうしてなにごとにも中心になって率先して行う「はむら人気質」がはぐくまれていきました。

天明の義拳も「はむら人気質」

天明3年の浅間山の大噴火による凶作と飢饉は関東地方の農民に深刻な打撃を与えました。そうしたとき、米穀商人の買い占め、売り惜しみに農民たちの怒りが高まりました。天明4年(1784)2月、羽村の名主・組頭たちが、「自分たちの命は惜しくない、我々が先頭に立って、みんなの難儀を助けよう」...とひそかに話し合い、決起をよびかける檄文を40カ村に配布。これを受けた農民「都合その勢2、3万人」が、狭山池(瑞穂町箱根ヶ崎)に集まり、狭山丘陵南麓(武蔵村山市、東大和市あたり)の豪農商数軒をうちこわしたいいわゆる農民一揆が「天明の義拳」と呼ばれています。この作戦会議の名目が「上水方の相談」ということだったようで、取水堰や玉川上水を守る仕事で培われた人脈・組織力が生かされたと思われます。

また、「自分たちが犠牲になっても」という気概は、「義理と人情とやせがまん」といった江戸文化の影響も考えられます。さらに、各地で発生していた農民一揆の情報なども得ていたのかもしれませんが。

三多摩の東京編入反対運動の先頭に「はむら人」

明治4年(1871)の廃藩置県により、羽村を含む三多摩地域は神奈川県にはいりましたが、水源地の安全確保などを理由に明治26年(1893)、三多摩が東京府に編入されました。各地で反対運動がおきましたが、西多摩の運動の中心となったのが羽村の人々でした。その人々が禅林寺境内に天明の義拳を讃える「豊饒の碑」を建立しました。

「玉川兄弟失敗」説について

玉川上水開削時の公式記録が未発見で、確かなことは不明の現状ですが、「玉川兄弟が請け負って、設計・工事をおこなったものの2度失敗し、松平信綱家臣安松金右衛門の出した羽村から取水する案で成功した」という説があります。

最初の失敗は現在の国立市の青柳で取水しようとしたから、というものです。玉川上水の最大の分水・野火止用水は、江戸城警護の戦略的意味合いもあり当初から予定されていたようで、玉川上水完成から2年後に完成しています。野火止用水を分水している小平監視所は標高99m、青柳は標高64mですから、「青柳から取水」はまったくありえない話です。

次の失敗は福生に設定した取水口から導水したところ水をよく吸収する地質(水喰土)があつてうまくいかなかったと

いうのですが、福生の取水口あたりは標高111mです。玉川上水の着工式が行われたという拝島の標高が122mですから、標高が11mも低い福生から取水するなどありえないことです。

着工した当初から、標高124mと拝島よりやや高い羽村から取水し、拝島、小平を経由し、四谷へ導く計画となっていたというのが道理があります。しかし、福生の水喰土地区で一部変更したことをとらえて、「玉川兄弟失敗」説が流布されたと考えられます。玉川上水の3分の1を分水するというのは人口比から見ても破格のもので、それを正当化するために「玉川兄弟失敗一野火止用水恩賞」の巧妙な虚構が松平信綱周辺によって作られたような気がします。(中原)(標高は国土地理院の数値地図を駆使したフリーソフト「3D地図ナビゲータ カシミール3D」からのデータ)



関連年譜

- 1600 関ヶ原の戦い
- 1603 江戸幕府
- 1629 神田上水
- 1653 玉川上水完成
- 1655 野火止用水完成
- 1721 江戸人口100万人
- 1784 天明一揆
- 1866 武州世直し一揆
- 1868 明治維新
- 1871 廃藩置県で三多摩は神奈川県に
- 1893 三多摩が神奈川県から東京府へ編入



2007年11月18日 No.873
発行 羽村民報編集委員会
責任者 野崎 衷
日本共産党羽村市委員会事務所
電話 579-2132 FAX 579-2106
http://www.jcphamura.org

おすすめの一冊・・・

杉本苑子著 玉川兄弟

赤旗日曜版に連載された後、朝日新聞社から単行本、講談社などから文庫本が出されています。